

# 美瑛岳

美瑛町立美瑛中学校  
学校だより  
令和6年9月号

## 「第49回美瑛中学校文化祭を振り返って・・・」

校長 金山 達也

本番当日、閉会式で伝えたかったこと・・・

文化祭、本当にお疲れ様でした。今日はもちろんのこと、前日までの準備の段階から、生き生きと活動するみなさんの姿を見ることができました。「ああでもない、こうでもない、こんな工夫はどうか？いやいやそれだと、こんなデメリットがある。それじゃあ、こうしてみたらどうだろう、よしそれで行こう！」『試行錯誤』という言葉がぴったりでした。

文化祭の目的の中に「納得解」という言葉があります。文化祭の形には計算のように正解というものはありません。どんな文化祭でもOKです。みなさん一人ひとりが、知恵を出し合い、みんなが納得するものを作り出すことに重点を置いているのが、美瑛中学校文化祭の特色の一つです。

黙々と細かい作業をこなして、見事な作品をつくりあげた作品制作係のみなさん。クラスの特色を考えながら、見ている人に感動を届けた虹色ムービープロジェクト係のみなさん。クオリティの高いダンスや歌、オタ芸のパフォーマンスを披露し、司会者のマイクパフォーマンスも素晴らしかったイベント、ステージ発表係のみなさん。会場や廊下の装飾、ジェット風船の準備等、この文化祭をささえてくれた会場係のみなさん。伝統のおばけ屋敷をはじめ、教室や物置に段ボールをくみ上げ、限られた空間をうまく活用し工夫された迷路がいくつもできていました。さらに、保護者の方や仲間との体験を通してふれあう場を提供してくれたブース係のみなさん。素晴らしい演奏を披露し、文化祭のスタートを飾ってくれた吹奏楽部のみなさん。そして、最後に、体育祭の反省をもとに文化祭というまだ何も書いていない真っ白い『キャンパス』に最初の一筆を書き始めてくれた生徒会本部役員のみなさん。特に、合唱発表会。コンクール形式のほうが盛り上がる。競争意識が芽生える。もっとレベルの高い合唱ができる。そんな意見も確かにあります。先生も昔担任をしていた頃に、そう思っていた時期があります。ですが、なにか賞があるから歌うという価値観ではなく、クラスの仲間と一つのものを作り上げることに価値を見いだして欲しい、そんな思いでみなさんの合唱に取り組む姿を練習の段階から見えていました。トップバッターとして、緊張感MAXの状態でも立派にその役割を果たしてくれた2年生。中学生として初めてのクラス合唱に挑戦した1年生。そして、さすが3年生！美しいハーモニーと迫力ある歌声、何より自分たちの伝えたい思いを歌に込め、見事に表現してくれました。

みなさんの総力を結集した第49回目となる文化祭、生徒だけでなく、保護者の方や我々教職員にとっても唯一無二の思い出となることでしょう。本当にお疲れ様でした。



## 第49回 文化祭 「CANVAS~互いを認め合い、一人ひとりが個性を描く~」

9月7日（土）美瑛中学校第49回目となる文化祭が行われました。昨年に続き、ご家族限定とはなりましたが、多くの皆様にご来校いただき、生徒たちが楽しみながら懸命に取り組む姿を見ていただくことができました。

午前中には吹奏楽部の演奏、合唱発表会、イベントが行われ、自分たちはもちろん、来場されたたくさんの人たちにも楽しんでもらおうと、愉快的ゲームやクイズが行われました。



昼食・休憩とともに、校内では各ブースや作品制作の発表がありました。



午後からは体育館に戻り、ステージ発表、虹色ムービープロジェクトと続き、これまでの練習の成果や、準備してきたものを、会場の皆さんに見ていただきました。



最後にはスライドでこれまでの活動を振り返り、ジェット風船が体育館いっぱいに飛び回って文化祭を締めくくりました。自分たちの手による自分たちの文化祭。それは見ていた人たちも笑顔にしてくれたのではないのでしょうか。来年こそぜひ、地域の皆様にもご覧いただけるようになればと願っています。

## 全国学力・学習状況調査 結果より

4月に3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査ですが、8月末に結果が出ました。学力点だけで言えば、本校の平均正答率は国語・数学ともに、全国平均を上回りました。3年生の皆さんのこれまでの努力の表れであることは明らかですが、あわせて行われた生徒質問の回答と関連させながら分析すると、3年生だけでなく、美瑛中として取り組むべき課題や、生徒の皆さん一人一人に心掛けてほしいことが見えてきました。裏面に記載していますので、親子で一緒に考えてみてください。

